

再配達削減広報事業委託プロポーザル質問回答書

令和6年6月25日（火）

佐賀県産業労働部産業政策課

No.	質問	回答
1	ターゲット像につき、年代や性別など特にメインと設定すべき層を想定されているか。	不在配達となりやすい世帯（20代・30代の若年層で、単身や共働きで日中不在としている層）を想定しています。
2	WEB上で特設サイトを立ち上げる場合、サーバーやドメインにつき、提案事業者が契約する必要があるか。	Webサイトを構築するにあたり、ドメインについては、県から「pref.saga.lg.jp」のサブドメインを提供することとしています。サーバーについては、ご提案に基づき県の所管課に協議の上決定します。場合によっては提案事業者が契約する必要があります
3	コンテンツ発信時期を8月1日～1月24日まで想定され前後期に分けている理由、並びに、8、12月を強化期間に設定されている理由はなぜか。	一般的に宅配の繁忙期といわれている、夏季、年末年始に合わせてメリハリのある広報を実施するため前後期に分けています。強化期間については繁忙期に合わせて実施することを想定し8月、12月としています。期間については前後期内でそれぞれ1回、一か月程度設定することとして、開始日については協議のうえ決定します。
4	佐賀県が各宅配業者と連携し、アプリで受取日時を変更できるサービスなどを盛り込んだチラシを制作予定との事ですが、こちらのチラシは、本プロポーザル事業で折込用に使用するなど可能か。使用できる場合、活用可能な部数とサイズ。並びに、データを借用し、提案者側で増刷をすることは可能か。	本事業の折込広告としてチラシを使用することについては可能です。また、増刷を目的とした、データの提供については可能ですが、データの加工等は不可としています。使用枚数については制限を設けていないため、提案者側で、各媒体の必要部数印刷いただいて差し支えありません。なお、チラシのサイズはA4を所有しています。
5	「県は、事業者に対し、業務の効率化に資する電動リフトの設置や、女性が働きやすい職場づくりにつながる施設設備の整備などを支援するとともに、不在配達先への周知啓発や宅配ボックス設置に対して支援を行うこととしている。」についての時期、予算規模、詳細について	(1)物流2024年問題対策補助金 時期：①令和6年6月12日～7月19日 ②令和6年7月22日～9月6日 予算規模：140,000千円 詳細： https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003107571/index.html (2)佐賀県宅配ボックス設置支援事業費補助金 時期：令和6年6月20日～8月30日 予算規模：24,000千円 詳細： https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003106577/index.html

6	「普段、何気なく行っている再配達 が宅配事業者やドライバーの重い 負担になっている」について、参照 したデータは何か。	詳細は下記ご参照ください。 ・佐賀県HP https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399702/index.html ・国土交通省HP https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/re_delivery_reduce.html
7	「宅配利用者の立場でできること があること」について、県では宅配 利用者側にどのようなことができ るとお考えか。	県で制作したチラシにも記載した内容になりますが、 ・確実に受け取れる日時、場所の設定 ・配達状況の通知サービスに登録し、荷物情報の確認・変更を行う ・自宅に宅配ボックスを設置し、受け取り方の選択肢を増やす ・コンビニ受け取りや宅配ロッカー受け取り、置き配の活用を推奨 ・複数の荷物が届く場合は日時を合わせて1回でまとめて受け取る といったことを考えています。
8	再配達削減については国の方で 様々な取組・啓発をされています が、県でも別途、相当の費用を使 って啓発を実施される意義につ いてどのように考えているか。	国の試算によると、物流2024年問題により2024年は14%、2030年 度は34%の輸送能力不足が生じる可能性があり、九州は全国平均より も厳しい状況が見込まれており、県民生活や県内経済への影響が懸念 されます。このため、県全体で再配達削減に取り組むことで、輸送力不 足の軽減を図っていきたいと考えています。
9	再配達について、佐賀県の現状や佐 賀県での課題について。	国によれば、国全体での再配達は約11.1%にのぼっています。一方、 宅配事業者だけで再配達を減らすことは難しいことから、私たち宅配 利用者が意識を変えてできることに取り組んでいく必要があります。
10	当事業についての成果目標等設定 しているか。	成果目標等は設定していませんが、再配達削減の効果について宅配事 業者から情報収集しながら効果検証を行います。
11	今回広報業務期間が2期間に分かれ ており、前期は8月1日～と記載さ れているが、7月11日の最優秀提 案者の決定から半月程度しかなく、 制作にあたる時間がないが、定め られた広報業務期間のスタート日 は8月1日からが必須か。期間内 にできれば少し遅れたスタート でも問題ないか。	広報業務の開始時期については、最優秀提案者の決定後に協議の上決 定しますが、遅くとも8月中旬までには開始できればと考えています。
12	仕様書にて記載の媒体についてテ レビCMの他、ラジオCMや新聞 広告、折込チラシなどが挙げられ ているが、挙げられている媒体全 てでご提案する必要があるか。評 価基準の	仕様書に記載している媒体についてはあくまでも例示ですので、必ず しも仕様書内で挙げている媒体を使用する必要はなく、また記載以外 の媒体の使用をご提案いただくことは可能です。 評価基準については、提案いただくコンテンツについて具体的なデザ インラフ案を提案ください。

<p>Excel においても「採点記入表 (A)」 「別添 2 評価基準」というシート では、「コンテンツデザイン」という 審査項目で「テレビ CM」「新聞本誌 掲載広告」「折込チラシ」とあるの で、こちらの 3 つは最低限ご提案が 必要であるか？</p>	<p>※評価基準を修正しました。</p>
--	----------------------